



# AUE News

2013年6月15日

第 63 号

編集・発行

愛知教育大学広報チーム

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



## 目次

● 行事予定(6月16-30日)

● トピックス

- ・教職大学院で体験授業・入学説明会
- ・東海地区国立大学体育大会弓道競技
- ・教育研究基金感謝状贈呈式
- ・名誉教授称号授与式
- ・開学記念懇談会

・AISIN国際交流会

・愛知教育大学同窓会・懇親会

・大学見学に県立武豊高校が来訪

・天文台一般公開

● お知らせ・報告・投稿

・教職大学院体験授業のお知らせ

・東海学生陸上競技対校選手権大会の結果

・催しもの案内

## 行事予定(6/16-30)

19日(水) 財務委員会 (15:30～ 第五会議室)

24日(月) 経営協議会 (10:00～ KKRホテル名古屋)

26日(水) 教員人事委員会 (13:30～ 第五会議室)

27日(木) 安全衛生委員会 (16:40～ 第一会議室)

## トピックス

### 教職大学院で体験授業・入学説明会(6/1)

教職大学院では、6月1日(土)に刈谷市総合文化センターで、「2013年度第1回体験授業・入試説明会」を、午前の部(学部直進の方や社会人の方を対象)、午後の部(現職教員の方を対象)に分けて開催しました。参加者は、午前の部では、本学以外の大学4年生、3年生、並びに社会人の計14人が、午後の部では、愛知県内の公立小・中学校教員6人が参加しました。

体験授業は、午前の部が、鈴木健二教授による「子どもを育てる学級づくり」、午後の部が、志水廣教授による「子どもとのキャッチ&レスポンス能力を磨く」でした。参加者からは「学級経営に関しては、大学であまり学んでこなかったため、ぜひ教職大学院で勉強したいと思いました」など、両授業ともに大変好評でした。また、入試説明会においても、積極的に質問をされるなど、活気のある説明会となりました。



なお、第2回体験授業・入試説明会は、6月26日(水)午後1時30分から、教育総合棟1階の模擬授業室で行います。本学学生など多くの参加をお待ちしています。

(教育実践研究科 教授 宮下治)

## 東海地区国立大学体育大会弓道競技(6/1, 2)

6月1日(土)、2日(日)の2日間、本学弓道場において、「第62回東海地区国立大学体育大会弓道競技」が本学当番校により開催されました。今回で62回目となる体育大会種目の中の弓道競技では、静岡大、三重大、名古屋大、岐阜大、名古屋工業大、豊橋技術科学大、浜松医科大、本学の8大学から男女合わせ200人の選手が参加しました。



初日は、曇天の下、女子の部の大会が行われ、開会式では当番校競技部長として弓道部顧問の浅野和生教授の代理で亀山が優勝杯返還の受け取りとあいさつを行いました。その後、本学弓道部学生による弓道の礼式の納射を行い、団体戦及び個人戦の競技が開始され、同時に各大学は熱の入った応援合戦を繰り広げました。

2日目は男子の部。朝の好天から細雨に変わる天候の中で行われ、開会式では当番校競技部長として弓道部顧問教員浅野教授が、優勝杯返還を受け取り、あいさつしました。初日と同様に納射を行い、団体戦及び個人戦の競技が開始されました。

熱戦の結果、団体で男子は浜松医科大が優勝し、本学は準優勝、そして女子は愛知教育大学が優勝し、男女とも優勝はなかったものの、当番大学としては大変良い成績でした。個人については、残念ながら男女とも予選で敗退し順位のない結果でしたが、連中賞(弓を的に連続で当て続ける)という別賞があり、唯一、本学女子の村瀬志織さん(自然科学コース分子・生命1年)が受賞しました。全日程終了後、本学弓道部の主将は「残念ながらアベック優勝は逃しましたが、とても良い成績を残すことができ、少し疲れましたが楽しく競技を終えることができました」とすがすがしい表情で話していました。



(学生支援課 課外教育担当係長 亀山重人)

## 教育研究基金感謝状贈呈式(6/3)

本学の尾嶋平次郎名誉教授(専門は化学)からの教育研究基金寄附に対する感謝状の贈呈式が6月3日(月)午前、学長室で松田正久学長や各理事同席の下で行われました。

松田学長は「このたびは、多額の寄付をされ、本学が行う学生支援事業に多大な貢献をされました。よってここに深く感謝の意を表します」と感謝の言葉を述べ、尾嶋氏に感謝状と記念品を手渡しました。85歳の尾嶋名誉教授は背筋をピンと伸ばして、「お世話になった大学で活用していただければ嬉しいです」とはつらつとした声でこれに答えました。

次いで、講堂に移動し、ロビーの壁面に設置された高額寄附者の名前が記載された銘板に、新たに尾嶋氏が加わったことを確認し、記念撮影を行いました。

この贈呈式は、教育研究基金として一定額以上の寄付をしていただいた方に対して、感謝状を贈るために随時実施しています。また、そのご厚意に報いるため寄附者のお名前を講堂ロビーの「愛知教育大学教育研究基金寄附者銘板」に記して、永く顕彰させていただいています。6月3日現在で銘板の数は、企業等18機関、個人68人です。同基金については、本学ホームページをご覧ください。



(秘書広報課 渉外広報係 眞野遠慧)

愛知教育大学教育研究基金ホームページ

<http://www.aichi-edu.ac.jp/intro/kikin/about.html>

### 名誉教授称号授与式(6/3)

2013年度の「愛知教育大学名誉教授称号記授与式」が6月3日(月)、第五会議室で行われました。



名誉教授の称号は、本学で長年教壇に立ち、定年を迎えた教員を対象に、名誉教授称号授与規程に基づき贈られるものです。今年、授与されたのは、阿部和俊、山中哲夫、澤武文、中川洋子、野澤博行、小川正光、多鹿秀継の7氏。授与式には、このうち6人が出席し、松田正久学長から一人ひとりに称号記が手渡されました。

松田学長は「今日、めでたく名誉教授授与式を迎えられ、おめでとうございます。長い間、本学の教育・研究だけでなく、法人化後の本学の運営にも貢献していただき、ありがとうございました。皆さまには、今後も本学へのご支援を引き続きお願いします」と、お祝いの言葉を贈りました。

名誉教授を代表して、阿部名誉教授が「このような称号をいただきありがとうございました。これを励みに、今後も日々、研究を続けていきます」と、お礼の言葉を述べました。

式の後、講堂前で記念撮影が行われ、新たに名誉教授となった6人は、引き続き行われた開学記念懇談会にも出席しました。



(人事労務課 福祉担当係長 原田一三)

### 開学記念懇談会(6/3)

開学記念懇談会(創基140周年)が6月3日(月)、第一会議室で開催されました。



同日に名誉教授称号を授与された先生方、名誉教授、および退職された事務職員の皆さん等を招き、学内関係者ら総勢約60人が集いました。

愛知教育大学の前身である愛知県養成学校が1873年に名古屋に設置されて以来、今年で140年を数えることとなり、「創基」の意を解説しながらの折出健二理事司会進行で、松田正久学長のあいさ

つを交えた本学の近況報告、それに対する名誉教授からの本学の現在の大学教育に対する方向性等への率直な質問、また、学長への激励等がありました。

後半は、食事を交えての懇談会となり、役員部局長等学内関係者の紹介の後、元学長の仲井豊先生の乾杯の発声で始まり、懐かしい話題から、それぞれの近況報告等、各所において話題に花が咲き、締めめの言葉を前学長の田原賢一先生からいただき、盛況のうちに幕を閉じました。



(総務課 大学総括係長 繁野哲)

### AISIN国際交流会(6/5,11)



6月5日(水)にAISIN交流会が開催され、10人の留学生と国際交流センター職員、日本人学生が参加しました。

この交流会は、アイシン精機課長会のメンバーが主体となって毎年同社で開催されているもので、今年で15回目。同社コムセンター見学、相撲部の稽古見学、特製

ちゃんこ鍋の試食という内容で行われました。

コムセンターでは、展示された製品に自由に手を触れたり、担当者からスマートエントリーシステム（電子ロックシステム）をはじめとした同社が手がける製品の最新技術についての説明を受けました。展示された車両に乗り込んで社内の写真を撮ったり、人を感知して自動で開くシャワートイレの前に何度も立つなど、参加者にとって、とても興味深い見学となりました。

相撲部の稽古見学では、四股踏みやぶつかり稽古の見学と併せて、実技体験が組み込まれ、3人がまわしを着け、基本動作の指導や相撲部員とのぶつかり稽古、取組を体験しました。二回り以上も大きな体の相撲部員に体当たりして必死に押し出そうとしたり、投げられまいと動き回る姿に、会場は大いに盛り上がりました。体験を終えた学生は「本当に疲れたが、とても楽しかった」と、見学していた学生も「楽しかった。参加してよかった」と興味を持った様子でした。



見学後は、部員・スタッフとちゃんこ鍋を囲みながら、留学生生活や相撲についての話に花が咲き、和やかな雰囲気での交流を深めていました。

この交流会は、6月11日（火）にも行われ、国際交流センター教員も参加して、両日で延べ19人の留学生と日本人学生8人（国際交流会館チューター、国際交流ボランティア学生）が参加しました。

（教育創造開発機構運営課 国際交流センター 伊藤英作）

### 愛知教育大学同窓会総会・懇親会(6/8)

6月8日（土）に名古屋市中区のローズコートホテルで、愛知教育大学同窓会総会及び懇親会を開催しました。当日は同窓生約250人の参加があり、同窓会会長の竹原裕様のご挨拶と、来賓として



松田正久学長、折出健二、岩崎公弥、都築繁幸、白石薫二各理事をはじめ部局長の皆様、愛知県教育委員会委員の岩月慎自様、元名古屋市教育委員会委員長の神谷龍彦様、同窓会名古屋地区会、尾張地区会、三河地区会の会長様等をお迎えして、お祝いと励ましの言葉をいただきました。



総会では、平成24年度の事業報告及び決算報告、平成25年度の役員案、同事業計画案及び予算案が承認されました。

引き続き開催された懇親会では、参議院議員の齊藤嘉隆様から、教育系大学を取り巻く厳しい状況についてお話がありました。



また、元名古屋市教育委員会委員長の青木一様、元愛知県教育委員会委員長の太田弘様からもご祝辞をいただきました。前愛知県教育委員会委員長の加古博様の発声で乾杯の後、普段はなかなか接する機会がない方々とも親しく交流することができました。

このような会を開催できましたのは、皆様方のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

（愛知教育大学同窓会事務局長 野田敦敬）

### 大学見学に県立武豊高校が来訪(6/13)

本学では、受験生向けに高校からの大学見学を受け付けています。6月13日（木）には愛知県立武豊高校の2年生42人が訪れ、大学の概要説明を受け、第一共通棟や生協、ガラス工房、附属図書館などを見学しました。

大学説明では、大学紹介DVDを見た後、質疑応答



が行われました。この日は同校卒業の本学1年の学生が参加して、生徒たちからの質問に答えました。生徒からは「活発な部活・サークルは何ですか」「高校と大学の授業はどんな点が違いますか」「教員採用試験の合格率は」「学食のメニューは何がお勧めですか」など幅広い質問が飛び出し、学生が自分の経験とユーモアを交えて返答をし、熱心にメモをとる生徒の姿も見られました。



施設見学では、ガラス工房で学生がガラス作品を制作する工程の一部を見学。高温の窯で溶かされたガラスが空気で冷まされて瞬時に固まる様子に、驚きの声を上げていました。さらに、共通棟で教室のドアの小窓から授業の様子を眺めたり、学食でランチを体験するなど、ちょっぴりキャンパスライフを楽しんで、この日の見学は終了しました。

### 天文台一般公開(6/15)

本学天文台で「第83回子どものための一般公開」が6月15日(土)午後6時から開催されました。あいにくの雨模様でしたが、親子連れなど30人余が参加しました。

天文ミニ講座の前半は、天文学検定の「星空博士をめざして」のシリーズ2回目。澤武文特別教授(理科教育)が、太陽や星々が東の方から昇り、西に沈んでいくのは、地球の自転のためであることをアニメーションなどを使って説明しました。後半は、太陽と地球と月の運動の関係で、月は太陽の回りを回っていること、太陽と地球の距離は地球と月の



距離の400倍もあること、太陽の光は虹色に分けることができるや、空気は青い光を散乱するため空が青く見えることなどを説明。参加した小学校低学年の子どもから「なぜ空気の窒素分子は青い光だけを散乱するのか」という高度な質問も飛び出し、澤教授を驚かせる場面もありました。



雨のため観望会は中止になりましたが、学生による「3D宇宙の旅上映会」が行われ、参加者は宇宙旅行の映像を楽しみました。また、この日は「天文愛好会CORE」のメンバーによる手作りプラネタリウムの上映もあり好評でした。

なお、今後の一般公開の予定は、7月7日(日)「全国同時七夕講演会2013」、7月20日(土)「第84回一般公開」があります。詳細は、天文台のホームページを参照してください。

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/astromy.html>



### お知らせ・報告・投稿

#### 教職大学院の体験授業・公開授業(お知らせ)

本学大学院教職実践研究科(教職大学院)では、2014年度の入学希望者向けの体験授業・公開授業を6月26日(水)に下記のとおり開催します。多くの学生、現職教員の皆さんの参加をお待ちしています。

##### ◆大学院教育実践研究科(教職大学院)体験授業

“教職大学院での学びって学部と何が違うのだろうか?興味がある方はぜひ体験しに来てください!”

6月26日(水)13:30~16:30 参加無料、当日受付可能  
教育総合棟1階 模擬授業室

- ①13：45～14：15「学級担任の心構え」講師：大矢忠史准教授  
初任者が一番困っている学級経営。あなたは担任として子どもに力を付けられますか。学級担任としての「心」と「学びのポイント」を伝えます。
- ②14：15～14：45「身近なものを教材化してみよう」講師：萩原孝准教授  
楽しく、力のつく授業とは？教材として、何をどのようにして使うかで授業は大きく変わります。教材を開発する視点や教材の効果的な活用方法のポイントを一緒に考えましょう。  
○終了後に入試説明会を開催いたします。

◆教育実践研究科（教職大学院）公開授業

“教職大学院の実際の授業を聴講することができます。教職にかける熱意をぜひ感じに来てください！”

7月2日（火）9：10～17：45 参加無料、当日受付可能

第一共通棟 304 教室

- ① 9：10～10：40「問題行動の理解と生徒指導・相談活動の進め方」  
②10：50～12：20「青少年のキャリア発達と進路指導・キャリア教育の推進」  
③13：20～14：50「心の教育と道德教育の推進」  
④15：00～16：30「学級経営ワークショップ」

7月5日（金）9：10～16：00 参加無料、当日受付可能

第一共通棟 304 教室

- ① 9：10～10：40「カリキュラムの開発と評価Ⅰ」  
②10：50～12：20「実践的授業研究Ⅰ」  
③13：20～14：50「授業づくりの内容と方法Ⅰ」

両日終了後に入試説明会を開催いたします。

体験授業、公開授業の問い合わせ・参加申し込みは、下記まで。

教務課教職大学院担当係：support\_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

詳細は、教職大学院ホームページをご覧ください。

<http://www.aichi-edu.ac.jp/kyoshoku/>

### 東海学生陸上競技対校選手権大会の結果(報告)

「第79回東海学生陸上競技対校選手権大会」が5月17日（金）～19日（日）、名古屋市瑞穂公園陸上競技場で開催され、本学の陸上競技部が参加。今年は、女子が総合で第2位、男子が第3位と健闘しました。本学陸上部顧問の筒井清次郎教授より結果が寄せられましたので紹介します。

\*

平成25年5月17日（金）18日（土）19日（日）に瑞穂公園陸上競技場で行われた東海インカレの結果を報告します。

男子総合3位 1位中京大、2位岐阜経済大、3位愛教大 上位2校は男子部員200名以上います。本学は50名です。女子総合2位 1位中京大、2位愛教大、3位至学館大。中京大は女子部員150名以上います、3位の至学館も100名近くいます。本学は50名です。女子が、体育学部のある至学館大に勝ったのは、至学館大（元中京女子大）開学以来初めてです。推移は以下の通りです。ここ数年、多くの私学が、体育学部、体育学科を設置し、得点が多く大学の分散したことも幸いしています。

2006	愛教 68	(3位)	至学館180(2位)
2007	愛教 86	(3位)	至学館209(2位)
2008	愛教105	(3位)	至学館229(1位)
2009	愛教142	(3位)	至学館206(2位)
2010	愛教164.5	(3位)	至学館198(2位)
2011	愛教153.5	(3位)	至学館193.5(2位)

2012 愛教107.5 (3位) 至学館199(2位)

2013 愛教134.5 (2位) 至学館129(3位)

個人優勝は、

男子10000m競歩 戸松弘成(英語2)

男子走高跳 糟谷隆明(体育2)

男子三段跳 佐脇匠(体育4) 2連覇

女子三段跳 大道爽香(体育3) 愛教大1、2位

女子走高跳 相馬由佳(体育2) 愛教大1、2、4位

## 催しもの案内

### ◆2013年度 第1回環境ミーティング

6月17日(月) 12:25~13:15

第一共通棟1階 自習室A

対象: 本学の環境に関心のある学生、教職員

問い合わせ: 施設課 副課長 鹿嶋さん TEL0566・26・2152

### ◆駅前ギャラリー UnoセレクションVol.2 加藤克俊個展

「can・ten ~環~ くりかえす動きの木のおもちやの作品展」

6月23日(日)~30日(日) 初日13:00-18:00、月~土10:00-18:00

最終日は17:30まで

刈谷駅前商店街「スペースAqua」

加藤氏は本学卒業生。豊橋創造大学短期大学部幼児教育・保育科講師で、木のおもちやの制作や地域の子どもの創作活動を通してさまざまな素材にふれ、つくることについて研究中。受賞歴は、第18回丹波の森ウッドクラフト展グランプリ受賞、CCDOデザインアワード2007受賞など

問い合わせ: 刈谷駅前商店街 澤田さん TEL0566・21・1109

### ◆生協ビアホール

7月4日(木)、5日(金) 17:00~20:00

第二福利施設「UP」

料金800円(バイキング形式、ドリンク別料金)

生協学生委員会が主催する夏の恒例イベント。教員採用試験に望む4年生への応援企画も。学年や専攻を超えた交流の場としても好評。

予約・問い合わせは生協本部へ。 TEL0566・36・2404

### ◆全国同時七夕講演会(愛知教育大学 第6回サイエンスカフェ)

7月7日(日) 18:00~21:00

自然科学棟5階・地学538教室、屋上・天文台など 雨天時も観望会以外は開催

18:00~19:00 七夕講演会「X線で輝く宇宙」

講師: 幅良統 講師(理科教育)

19:00~19:30 カフェタイム

19:30~21:00 夜の天文観望会「七夕星空観望会」天体: 土星、二重星ほか。

19:30~ 「3D宇宙の旅」上映会

解説: 本学学生

問い合わせ: 理科教育講座 天文学研究室 TEL0566・26・2624

天文台ホームページ

<http://www.step.aichi-edu.ac.jp/astronomy.html>

◆第6回愛教大アカデミックカフェ

「新種発見！ナガバノイシモチソウの不思議～渡邊教授と地域の連携で世界的発見～」

7月16日（火）17：15～19：00

17：15～カフェタイム、17：30～講演、18：30～質疑応答

本部棟3階 第五会議室 入場無料・事前予約不要

講師：渡邊幹男教授（理科教育講座）

演題：「ナガバノイシモチソウの不思議」

絶滅危惧種の食中植物「ナガバノイシモチソウ」のうち、豊明市など東海地方にだけ自生する赤い花を咲かせるタイプが日本固有の新種であることを、渡邊教授の研究グループが発見。学名に「トヨアケ」を冠して「ドラセラ トヨアケンシス」と命名した。世界的な発見について、渡邊教授が分かりやすく解説します。

問い合わせ：秘書広報課 TEL 0566・26・2738

または大学ホームページの案内をご覧ください。

[http://www.aichi-edu.ac.jp/files/academiccafe06\\_130617.pdf](http://www.aichi-edu.ac.jp/files/academiccafe06_130617.pdf)

### 編集後記

「ナガバノイシモチソウ」についてのアカデミックカフェを上記のとおり7月16日に開催します。ナガバノイシモチソウは直径3cmほどの可愛い花ですが、茎から粘液を出して昆虫をとらえ、体液を吸い取って栄養にしていると渡邊教授から伺い、びっくり。しかも粘液は石を持ち上げるほど強力で、それが名前の由来にもなっているとか。さらに、甘い香りを放って虫たちを誘うというから、その知恵には驚かされます。カフェ当日は研究用の実物もご覧いただけます。ぜひ、ナガバノイシモチソウの不思議に触れてください。多くの方の来場をお待ちしています。



(K)

### 投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：[kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者：総務担当理事 折出 健二